

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

◆ カキまつり大好評

11月から12月にかけて各漁協主催による「カキまつり」が開催され、メインの牡蠣をはじめサロマ湖・オホーツク海の新鮮な海産物や加工品などを買い求める多くの来場者でにぎわいました。会場にはその場で焼いて食べられるコーナーも設けられ来場者は一日新鮮な味覚を楽しみました。



11月16日(日)
佐呂間町道の駅サロマ湖



11月23日(日)
湧別町湧別漁協



12月14日(日)
常呂町多目的センター

また、11月9日には北見市オホーツクピアファクトリーで3漁協青年部共催による「秋のサロマ湖まつり」が開催され、各漁協青年部員自らが「カキの酒蒸し」「焼きガキ」「焼きホタテ」を調理して販売しました。このまつりも9年目を数え、北見市民にもなじみのイベントとなり多くの市民や周辺の町からも大勢が来場しカキ・ホタテなどを堪能いたしました。



味覚を楽しむ来場者



牡蠣を調理する常呂漁協青年部のみなさん

◆ 初競りで今年の豊漁を祈願

平成27年の初競りは湧別漁協が1月7日、常呂漁協・佐呂間漁協は1月8日に関係者が出席のもと行われました。



ここ数年オホーツク海沿岸の漁業はホタテやカキを中心に好調が続いておりますが、湧別漁協では、午後1時30分から漁協、町をはじめ関係者70名が出席し、今年一年の豊漁と安全操業を願ったあと、最初の競りが行われました。

競りでは殻付カキ、むきカキ、養殖ホタテをはじめ鮮魚などオホーツクの新鮮な海産物が、威勢のいい掛け声とともに競り落とされました。

◆ 佐呂間漁協排水処理施設完成近づく

佐呂間漁協が平成26年度実施している産地水産支援事業「排水処理施設建設事業」が3月末の完成を目指して急ピッチで進められています。

この施設はホタテの加工処理過程で発生する排水を浄化し、サロマ湖の環境負荷を軽減して湖内の環境を維持し、漁業経営の安定と水産加工品の安定供給を図ることを目的に建設されています。

この施設が完成する、1日500トンの排水処理が可能となりサロマ湖の環境保全に大きな効果が期待されています。

事業費は4億2千585万円で国からの補助金2億565万円、佐呂間町からの補助金6千800万円を予定しています。



発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会

2015.3.10

編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局広報担当

〒093-0502 佐呂間町永代町3番地の1

佐呂間町経済課水産係

T e l 01587-2-1200 ・ F a x 01587-2-1131

M a i l kankou@town.saroma.hokkaido.jp



ももちゃん